

バラで埋め尽くされた庭園は
ため息ものの美しさ

京成バラ園 千葉

1600種1万株のバラが咲く広大なバラ園。2015年、世界バラ会議において優秀庭園賞受賞。桂由美寄贈の「愛のガゼボ」(写真上)、樹齢約50年のつるバラの大アーチなど、見所が多い。

住 千葉県八千代市大和田新田755
☎ 047-459-0106
営 5・6月は9:00～18:00
料 5・6月は一般1200円(65歳以上は900円)
<http://www.keiseirose.co.jp/garden/>



オスカルをイメージ

京成バラ園のローズショップでは、「ベルサイユのばら」のオスカルをイメージしたオリジナルフレグランス「オスカルフランソワ」を販売している。濃くしてしながら、内に秘めた女性らしさを連想させる香りだ。50ml15400円(税込み)。

真紅の「熱情」、ほんのりピンクに染まる少女の頬のような「初恋」、清らかな「ホワイトクリスマス」、小さなブーケのような「黄木香」、ころんと丸い紫の花を咲かせる「しのぶれど」……。今年も春のバラの季節がやって来た。爛漫と咲き誇るバラは、気分を晴れやかにしてくれる。

朝のバラの瑞々しき、香りの高さは格別だ。「横浜イングリッシュガーデン」では、期間限定で早朝入園を実施しているので、ぜひ訪れてほしい。バラのアーチが連なる「ローズトンネル」は、春を祝福しているかのように明るく華やかだ。

都内でバラを愛でるなら、「旧古河庭園」へ。洋館とバラとのコントラスト、さらには枯滝や茶室もあり、時間を忘れてしまおう。昭和モダンの香りとともにバラを楽しむのは「鎌倉文学館」。静かな森を抜けてバラ園を歩けば、青い瓦の洋館とバラが織りなす光景に胸がときめく。

バラの多くは1種類につき1株ずつ植えられており、「可愛いものを少しずつ楽しみたい

い」、そんな乙女心をくすぐられる。もう少し足を延ばすなら、埼玉の「伊奈町制施行記念公園」もオススメ。バラに囲まれたベンチで一休みしながら、じっくりとバラを鑑賞したい。恋人の聖地にも認定されているのが千葉の「京成バラ園」。フランス様式の庭園が広がり、ヨーロッパのお姫様が登場しそうなほどロマンチックである。「恋結び」など、可愛らしい名前のオリジナル品種も見どころだ。

ご当地バラの名は？

「浦和レッドダイヤモンド」(愛称、レッズローズ)は、世界で初めてサッカーチームの名前が付けられたバラ。レッズのチームカラーを表現した鮮やかな赤、初心者でも安心の育てやすさ、病気などに負けない力強さなどが特徴だ。



伊奈町制施行記念公園

埼玉

約1.2haの敷地に約400種5000株のバラが咲き誇る様は壮観。3年前から春の開花時期には、町の公募で選ばれた一組のカップルが、バラに祝福される結婚式を挙げている。

住 埼玉県北足立郡伊奈町大字小針内宿732-1
☎ 048-724-1055 (伊奈町観光協会)
営 9:00~18:00
料 350円(18歳以下無料)
<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/0000000120.html>

青空に映えるバラを 心ゆくまで堪能

